

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名		コード	24220 畜産競争力強化対策整備事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	農水産課	担当班	畜産班
実施体系		基本施策	1 農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則							
		施策の展開	1 農畜産物の生産振興	戦略事業	4	畜産競争力強化対策整備事業						
		施策の展開		戦略事業								
										事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 27 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	地域農業の核である畜産の生産基盤の確保及び国際競争力強化のため、地域の畜産関係者が連携して作成する地域全体の収益力を向上させる計画・目標達成のための取組について、中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取組を支援することにより、地域の畜産の収益性の向上及び地域全体の活性化を図る。 【対象事業】 地域畜産業の収益力を向上させる取組に沿った施設整備 【補助対象】 中心的な畜産経営体 【補助率】 1／2以内(国:県:市＝1:0:0)		
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化		⑤事務事業に対する住民からの意見等
経営規模の拡大・コスト削減等の取組を支援すべく平成27年度から事業開始し、27年度は肉牛農家1件が事業実施した。	現在、畜産を取り巻く状況は厳しいものであり、農家戸数や飼養頭数の減少など畜産の生産基盤の弱体化が懸念されている。		地域の肉牛農家からは、肉牛生産基盤の強化及び県産肉牛の増産につながる取組になったという評価があった。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.畜産競争力強化対策整備事業補助金	0	豚舎、堆肥化施設の新設置に対する補助
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	畜産競争力強化対策整備事業補助金
3.地方債	0	
4.その他	0	

		単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
事業費	費目内訳	1. 畜産競争力強化対策整備事業補助金	千円	590,233	861,505		
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
財源	事業費計 (A)		千円	590,233	861,505	0	0
	1. 国庫支出金		千円	590,233	861,505		
	2. 都道府県支出金		千円				
	3. 地方債		千円				
	4. その他		千円				
		5. 一般財源	千円	0	0	0	0

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時 1 人	最大 1 人	× 30 日	= 延べ 30 人
-------	--------	--------	--------	-----------

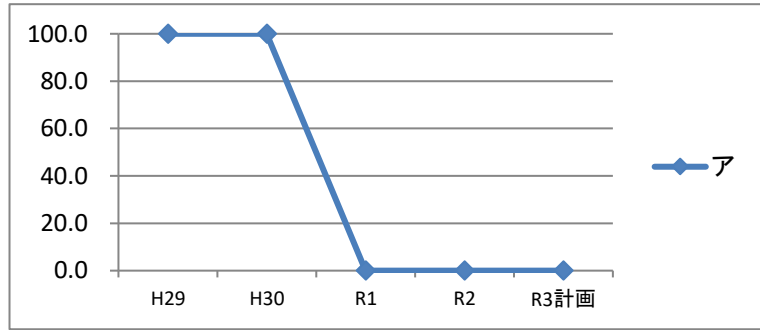
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	→	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 整備した施設の確認検査		ア 補助金申請件数	件	3	0	0	0	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	→	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象意図 対象意図 畜産関係者により構成された協議会 施設整備によって収益力が向上する		ア 補助金交付割合(補助金交付件数／補助金申請件数)	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地				コスト比率	
		かなりある	ある程度ある			下位 1/3	中位 1/3
施策貢献度	大きい		②	①			
	普通			②	(2)		
	小さい			③			
評価結果				④⑤			
				⑥			
				⑦⑧			
				⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	成果動向
		6月	事業要望調査	随時	事業要望による	28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画 0.0 0.0 △100.0 0.0 0.0
		7月	利用状況報告			